



JCNA 通信 第 25 号

発行日 2018.12.
発行人 山口郁乃
編集人 福島恵子
創立 1957 (S32) 年

第 59 回 JCNA 全国大会 in 名古屋 「共に生きる」 同じ時代を！



喜びなさい、大いに喜びなさい

日本カトリック看護協会 会長 山口郁乃

病院の診療日に病院を会場として JCNA の大会を開催する、というすごい冒険を名古屋支部はなし遂げられました！！

病院を利用される患者様方、職員のみなさまにどんなにか迷惑がかかったことと思われまふ。JCNA の大会を初めて体験された院長先生も驚きの 2 日間だったことでしょう。にもかかわらず、参加者にとっては満ち溢れる愛のある場所での大会でした。聖霊病院のすべてのみなさまに感謝申しあげます。各支部から派遣された会員の方は、この豊かさをどうぞ支部に持ち帰ってお伝えください。

この後、ですが、3 年に 1 度、カトリック医療 3 団体が合同で全国大会をする、という方式になって 3 回目の大会は、来年長崎で開催されます。8 月 2 日の朝から 3 日の 16 時頃まで、どうぞ時間を確保してください。長崎で、私たちは 1951 年に帰天された医師パウロ永井隆博士に会います。

放射線医療の仕事、従軍医師として敵味方を差別しない診療、被爆者として平和への熱望、そして筆まめで挿絵の上手な一面など、できれば、たくさんの著作の中から 1 冊でもお読みになって参加されると多くの実りを得られるでしょう。過去の人としてではなく、つつみ隠しのないありのままの人柄にふれ、彼の周りにいた看護師にも思いを巡らしましょう。

その次 2020 年は初めて新潟県長岡市で開催されます。

支部短 信

札幌 支部会員 児玉弘美

今年の黙想会は参加者こそ多くありませんでしたが、たまたま全員が天使大の卒業生だったため、大先輩から当時の学校や寮生活など、貴重な歴史を教えていただくことができました。建学の精神「愛をとおして真理へ」は、卒業後何十年たっても心の支えです。



新潟 支部長 中村文子

2020年は40年ぶりに新潟で大会が行われる予定です。

新潟支部としては再出発の意味をもち、神様は私たちと共に大会の準備をなさいます。この機会に恵まれた喜びを神に感謝をしています。

名古屋 副支部長 蒔苗佐代

10月の全国大会 in 名古屋へのご参加・ご協力・お祈りありがとうございました。

春頃には、大会誌を皆さまの元へお届けできるよう作業を進めています。楽しみにお待ちください。定例会では、大会準備でおろそかになっていた『いのちへのまなざし』の輪読と分かち合いを続けていきたいと思ひます。

東京 支部長 西村晶子

11月25日、JCMAと合同の、黙想会でした。14名参加しました。

12月15日はJCMAと合同でクリスマス会です。

新入会員はまだありません。

新年もよろしくお祈りします。

京都 支部長 山本信子

11月3日に開催された、京都南部ウォークソングに、救護班として、会員が4名参加しました。カトリック医師会京都支部からは、医療班として、2名参加されていました。自己紹介をして交流を持ってました。旧知の人もいて、話が盛り上がっていました。カトリック看護協会の幟旗を立てさせていただき、パチリと記念撮影をしました。

大阪(大阪グループ・姫路グループ)

支部長 川口百合子

釜ヶ崎現地スタッフよりいただいた礼状の一部を分かち合います。前略『炊き出しの帰り、道端にごみと一緒に蒼い顔でぶっ倒れている人に気づいた同行者は、即座に屈み込み顔を近づけその息を確かめる。我々は傍観者でしかない。

この街では、救急車は来ても飲んでいる人は運ばない。悪くすれば警察だ。この良きサマリヤ人の姿は現実そのものに包まれていた。』—後略 ☆釜ヶ崎で出会う人たちは人生経験豊富な人たちが多し。私たちはエネルギーをいただいて帰ってくるのです。



福岡 支部長 牧山幸二

9/23 支部総会実施。単年度決算は赤字。講話は
デンニ神父様。11/4 例会実施。顧問司祭不在で講
話なし。次回例会は 1/27 を予定。救護活動は
11/3「神学院祭」、11/23「福岡教区の日」(医師会
合同)に実施。軽いけがで救護室に数名みえた。

大分 支部長 阿南幸子

名古屋支部の皆様ありがとうございました。
「共に生きる」多くの学びと嬉しい会員との
交流がたくさんできました。
10/21 は日出殉教祭で 2 名の会員と信者
2 名の協力を得て救護活動をしました。
10/30~10/31 支部長は潜伏キリシタン関連
遺産に登録された天草の崎津集落群の巡礼
に参加しました。「絵踏み」が行われた場所に
建立された崎津天主堂や大江天主堂キリシタ
ンの関連記念館等を心静かに見学しました。
11/25 例会、崔司祭と 2 名の会員と少ない会
でしたが、わかりやすい神父様の御言葉の解
説、又カトリック施設としてスタートした障害者
施設の現状を Sr より伺いました。支部長は
全国大会の報告をしました。

鹿児島 支部長 Sr.澤ヤエ子

9月の全国総会と全国大会は有意義な時でした。
準備なされた名古屋支部の皆様と、関わって下さ
った方々に感謝申し上げます。

鹿児島支部は、新しい司教様が10月8日叙階さ
れ、鹿児島教区としては新しい出発の年になりま
した。私たち支部は叙階式のと、救護班を教区
から依頼されて行いました。新しく会員になっ
て下さった若者も一緒に活動に参加し、まだ会員に
なっていない看護師も手伝って有意義な交流の
場となりました。小教区を巡回しての「健康相談
と血圧測定」は細々と継続しながら、各小教区の
信者さんとの交わりを大切にしております。

長崎 支部長 野下しのぶ

12 月の例会で新しく男性が例会に参加して下さ
いました。いつも女性の中に司祭が一人の状況で
気の毒に思っていましたので少しホッとしました。
あまり気にしなくてもよいと言われるのですがや
はり気になります。

2019 年 2 月にお告げの修道院で黙想会を行いま
す。ほとんどの人が知っているのは当たり前と
思い、実は忘れていた内容にしました。カトリック
要理です。教会の敷居が高く感じている人に声を
かけ続けようやく参加を決意してくれました。参
加の名目はドライバーです。

ホームページの更新は、とても大切な事だと
あらためて思ったこと。
専門の勉強をするため他県から長崎に来ている
人がいます。カト看護を知ったのはホームペー
ジで、更新されていれば活動していると判断して例
会に参加したとのこと。

例会は 15 分くらいの聖体賛美式から始まりま
す。60分~90分の内容で、お茶をしながら連絡な
どを行ないます。終了時に「また会いましょう」が
定番になりました。

広島 支部長 山口郁乃

各自小教区で身の丈の奉仕をしています。
新年は恒例の持ち寄りお食事会を兼ねた例会で
始まります。

お断り

今回、仙台支部、高松支部、
横浜支部はお休みです。



関連団体報告

CICIAMS 第 20 回世界大会参加報告 (What I can do for peace)

カトリック新聞 4454 号記載のとおり、去る 9 月 4 日～7 日、マレーシアのクチン(ボルネオ島)で開催された大会に行ってきました。私たちが核兵器のない平和を望んでいることを訴えるためです。

18 カ国 298 名の参加。毎日かかさず朝の祈り、お昼のお告げの祈り、夕方はミサ(枢機卿様、司教様、同行司祭団司式)と黙想会並みのプログラムでした。

4 日は代表による総会。この会議に各会長が出席することが必須です。この不安定な時代、直接顔を合わせることは大きな意味があります。(助産師部会を立ち上げたいという話が出ましたので、英語力のある助産師会員さん、日本代表に立候補してください)

4 日 18 時から歓迎レセプションでしたが、せっかくの中華料理も seafood が多く、アフリカからの参加者(2 日間かけて到着)の口には合わなかったようです。

すべて英語の世界に缶詰の 4 日間、パワーポイントの画面も当然英語なので、私は各国の発表を翻訳こんにやく(スマホ)頼りに聞きました。私の「JCNA からの平和アピール」は原稿をケン神父様に英訳していただき、当日の読み上げもお願いしました。

7 日の交流会は民族衣装で大盛り上がり。アジア・アフリカ勢のパワーはすばらしい。

なお、2021 年 CICIAMS アジア大会を、28 年ぶりに日本で開催するよう要請されましたが、枢機卿様、大司教様にご相談の上、断念しました。日本におけるカトリックの小ささ(JCNA の小ささ)、が主な理由です。あたたかい心と笑顔が印象的だったマレーシア大会を思うと、私たちにそれができないのが残念です。

なお、開会式では大きな国旗を掲げて入場します。いろいろな場面で日の丸の小旗も必要です。将来、出かけていこうと思われる方、忘れないでください。民族衣装としての和服と出し物も、です。

JCNA 第 63 回全国総会以後、顧問司祭の選びや任期の問題が浮かび上がっています。これには司教様方がかかわってくださる見込みです。会規の改正が必要ですので、次回総会にかける予定です。



*** 編集後記 ***

見つけました！ すてきな本を紹介します。

フランシスコ教皇の使徒的勧告 「喜びに喜べ」カトリック中央協議会出版 972 円

小出美樹著 「シスターヒロ子の看取りのレッスン」KADOKAWA 出版 1404 円